

インタビュー 経済的で魅力的な木造建築とパネル工法

このほどパネ協は、木構造の専門家である東京大学名誉教授、一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会代表理事の稲山正弘氏にインタビューの機会をいただきました。

稲山氏は、パネ協が奨励賞を受賞した建設省(当時)の「新都市型ハウジングシステム」提案競技(1986年)に参画し、中央試験場(埼玉県ふじみ野市)において「引きボルト式ラーメン構造」の実験を実施。その後、2019~2020年には、桐朋学園大学音楽ホールの折板構造の梁、飯能市商工会議所で用いられた平行弦トラスなどの構造実験を同中央試験場で実施されました。また、創立60周年記念セミナー(2022年)においては講師として登壇いただきました。



東京大学名誉教授
稲山 正弘氏

インタビューにおいて稲山氏は「日本の木材資源の有効活用やカーボンニュートラル促進の観点から、建築物の木造化・木質化は今後ますます重要な分野となる。特に住宅用の一般流通材をプレカット工場加工できる工法を標準化することで、経済的かつ魅力的な中大規模木造建築を低層系から中層まで広げていきたい」と意気込みを述べられたうえで、「パネ協は、内装の木質化について多くの実績がある。躯体が木造の建築物には、非構造部材の壁、天井なども木がなじみやすい。芯材に木材を活用した内装パネル工法や不燃木材NMウッドなどの可能性も広がっていくのではないかと示唆をいただきました。

稲山正弘氏のプロフィール

- 1958年 愛知県生まれ
- 1982年 東京大学工学部建築学科卒業
- 1982~1986年 ミサワホーム勤務
- 1990年 稲山建築設計事務所(現・ホルツストラ)設立
- 1992年 東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)
- 2001~2002年 ものつくり大学建設技能工芸学科助教授
- 2005~2012年 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授
- 2012~2024年 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
- 2024年~現在 (株)ホルツストラ取締役、東京大学名誉教授

パネ協中央試験場のご紹介

パネ協は、埼玉県ふじみ野市に中央試験場を設置し、内装部品などの品質試験や開発業務を実施しています。

具体的には床・間仕切り壁・天井のパネル材、造作材、システム収納をはじめとする家具など内装の多様な部材・部品の改良・開発を行ない、これらを統合した居住空間の性能と質の向上に努めています。

あわせて、外部機関からのご要望に応じて、試験実施、試験機器の貸し出しにも対応させていただきます。



木造の梁などの強度試験
(200kN圧縮試験機)

パネルの乾湿繰返し
試験(環境試験機)

パネルの衝撃強さ試験

パネルの加熱
繰返し試験

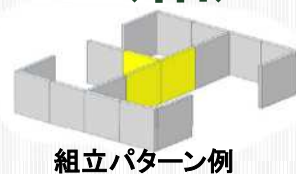
パネ協の商品紹介

避難所用パーテーション

YUI(結)パネル



パーテーション
設置動画



組立パターン例



避難所用パーテーション「YUI(結)パネル」は、災害時における体育館などの避難所の環境改善を目的とした間仕切りパネルで、「スフィア基準」(一人当たりの居住スペース3.5㎡の確保、プライバシー確保に関する基準)に適合しています。

特に、要配慮者(災害時に配慮が必要な高齢者、障害者、授乳が必要な女性等)向けの専用ブースとして最適です。

本製品の特徴

平時には壁面に金具で固定可能: 普段は壁面に収納されるため、省スペース化を実現。展示会や選挙投票所など、様々な場面で間仕切りとして活用できるフェーズフリー設計です。

簡単・迅速・安全な組立可能: 専用ボルトが本体に内蔵されており、工具不要で簡単に組み立てることができます。女性や子供にも扱いやすい設計で、迅速・安全な設営が可能です。

パネル内部に防災備品を収納可能: テーブル、棚、畳マットや組み立てベッドなどをパネル内部に収納でき現地保管が可能です。



パネルの構造



プロジェクト紹介 日立ハイテク笠戸地区新製造棟(山口県下松市)

株式会社日立ハイテクが、笠戸地区(山口県下松市)に建設を進めていた半導体を微細加工するエッチング装置の新製造棟がこのほど竣工しました。

パネ協は4階の執務・リフレッシュエリアの円柱9本の表面装飾工事を担当しました。「不燃木材NMウッド(すぎ集成材)」を使用し、木材の質感を活かしながら、大規模な建築物に求められる内装の不燃化を実現しています。

また、NMウッドは、金沢工業大学の露本伊佐男教授の特許技術により、リン酸系薬剤に代えて、ホウ酸系薬剤を用いることにより、結露による液だれがなく、白華が生じにくいという特徴があります。



NMウッドで装飾した円柱



執務・リフレッシュエリア



新製造棟外観

所在地: 山口県下松市大字東豊井字宮ノ洲浜
設計: 株式会社日立建築設計
施工: 鹿島建設株式会社
竣工: 2025年3月 鉄骨造4階建

東部コミュニティセンター(兵庫県加古郡播磨町)

兵庫県の播磨町がかねてより移転を計画していた東部コミュニティセンターがこのほど竣工しました。東部コミュニティセンターは、地域のコミュニティ活動の拠点として、また、各種講座・教室などの生涯学習の活動場所としての活用が期待されています。

1階のフリースペースのエントランス部分の縦ルーバーや柱の羽目板としてパネ協製品の「不燃木材NMウッド(すぎ集成材)」をご採用いただきました。本製品には事業主体のご要望により兵庫県産の杉材を使用しています。



外観



柱の羽目板



縦ルーバー

所在地: 郷古県加古郡播磨町古宮
設計・監理: 株式会社アートテック 施工: 株式会社赤鹿建設
竣工: 2026年3月 鉄筋コンクリート造2階建

パネ協事務局新体制 2026年4月着任

東日本支所



副支所長 東 兼洋

設計部門/
北海道地区担当

担い手不足や資機材高騰が加速する困難な時代において、パネ協の内装パネル工法は、建設業界の課題である現場施工の大幅な省力化や工期短縮によるコストダウン等に貢献いたします。

さらに内装パネル工法のBIMモデル化やお客様のニーズに沿った商品開発にチャレンジしてまいります。

大阪支所



副支所長 川光 勝治
管理・資材・設計
営業部門/
京都・滋賀地区担当

建設業を取り巻く環境が大きく変化し、特に関西においても技能者不足の拡大など、厳しい状況が続くと想定されます。

こうした中、お客様との信頼関係を何より大切にし、ご期待に応える提案と迅速かつ丁寧な対応に努めつつ、内装パネル工法による省力化や木質化、省エネ化を推進し、設計・施工の連携強化に取り組んでまいります。

事業本部



部長代理 須永 竜次

人材不足や国際情勢の変化など、厳しい環境に直面する一方で、DXの加速による新たな挑戦、カーボンニュートラルの実現、国産木材の活用推進など、継続的に取り組むべき課題を通じて、多くの可能性が広がっています。

私たちは、関係各所との連携をさらに深めながら、持続可能で価値ある快適な空間づくりをお客様と共に進めてまいります。

短信 モクコレ2026に出展

NMウッド
天井ルーバー

2026年2月12日～13日の2日間、「WOODコレクション(モクコレ)2026」が東京ビッグサイトにおいて開催され、約320社が出展し、多くの来場者をお迎えしました。

パネ協のブースにおいては、不燃木材のNMウッドによる天井ルーバー、レーザーボード、アルマジロ、避難所用パーテーション「YUI(結)パネル」、台形集成材などを展示しました。



YUI(結)パネル

大阪ショールーム リニューアルオープン

パネ協は、大阪ショールームをリニューアルし、商品ラインナップを拡充いたしました。今回の改修では新たにレーザーボード、マドアーージュなどを展示し、製品や施工提案を実物サンプルを通じてご覧いただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



レーザーボード マドアーージュ ヴァンテージストーン

● 見学予約は
06-6462-3381
(大阪支所大西・中浦まで)

PANEKYO ニュースレター

編集・発行 日本住宅パネル工業協同組合
113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7

Phone : 03-3945-2311 <http://www.panekyo.or.jp/>